

「道路及び河川等維持管理統合業務委託」受託者の特定について（公募型プロポーザル方式）

令和 8 (2026) 年 9 月 30 日

栃木県鹿沼土木事務所

道路及び河川等維持管理統合業務委託における受託者の選定にあたり、公募型プロポーザル方式により、下記のとおり実施しました。

1 特定された受託者

鹿沼建設業協同組合

2 受託者の選定及び特定の方法について

受託者の選定及び特定にあたっては、参加表明書の評価（第 1 次審査）及び業務提案書の評価（第 2 次審査）により実施しました。

審査にあたっては、「道路及び河川等維持管理統合業務委託に係る受託者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）において審議し、鹿沼土木事務所建設工事等請負業者指名選考委員会（以下「選考委員会」という。）の承認を受け決定しました。

評価項目・判断基準及び評価の配点については、別表「業務提案書評価表」のとおりです。

選定委員会名簿

	所属・役職等
委員長	栃木県鹿沼土木事務所次長兼企画調査部長
副委員長	栃木県鹿沼土木事務所保全部長
委員	栃木県県土整備部砂防水資源課課長補佐
委員	栃木県鹿沼土木事務所整備部長
委員	栃木県鹿沼土木事務所企画調査部長補佐兼企画調査課長

3 経過

(1) 公告・説明書配布

令和 8 (2026) 年 7 月 10 日からプロポーザル手続開始の公告及び説明書の配布を行いました。

(2) 参加表明書の提出者について

参加表明書の提出があったのは次のとおりです。

鹿沼建設業協同組合

(3) 業務提案書の提出者の選定について

令和 8 (2026) 年 7 月 22 日の選定委員会において業務提案書の提出者を選定しました。入札参加資格要件の全てを満たしていることを選定基準とし、令和 8 (2026) 年 7 月 23 日に業務提案書の提出者に選定した旨通知しました。

(4) 業務提案書の提出について

選定者から業務提案書が提出されました。

(5) 業務提案書の評価・特定について

令和 8 (2026) 年 8 月 5 日の選定委員会において、業務提案書の提出者に対してヒアリングを行い、鹿沼建設業協同組合の業務提案書を特定しました。なお、業務提案書の評価内容については、別表「業務提案書評価表」のとおりです。

その後、選考委員会の承認を受け、令和 8 (2026) 年 8 月 21 日に業務提案書を特定した旨通知しました。

なお、特定理由については、業務提案書における課題に対して的確性や実現性が高いと判断されたためです。

4 業務委託契約の締結について

令和 8 (2026) 年 9 月 10 日に鹿沼建設業協同組合から見積書を徴取して契約の相手方として決定し、令和 8 (2026) 年 9 月 29 日に契約金額 2 7 2 , 8 0 0 , 0 0 0 円で契約を締結しました。

業務提案書評価表（鹿沼建設業協同組合）

評 価 基 準			配分のウエイト		評点
評価区分					
主任技術者の 業務経歴	過去 15 年間の維持 管理統合業務、道路 維持管理業務又は河 川砂防施設維持管理 業務の実績	・経験あり	20	20	20
		・経験なし	0		
事業者の業務 経歴	過去 15 年間の維持 管理統合業務、道路 維持管理業務又は河 川砂防施設維持管理 業務の実績	・鹿沼土木事務所管内における維持管理統合 業務、道路維持管理業務又は河川砂防施設 維持管理業務の実績が合わせて2件以上	20	20	20
		・栃木県内における維持管理統合業務、道路 維持管理業務又は河川砂防施設維持管理 業務の実績が合わせて2件以上	10		
		・上記以外	0		
業務の実施方 針及び手法 （特定テーマ に対する提案）	「テーマⅠ」 緊急時における初動 体制の確立に関する 提案	・事前準備及び初動体制の確立に関する理解 度について	5	20	3.6
		・指揮、連絡系統の的確性及び処理対応の迅 速化について	5		4.0
		・初動体制確立の実現性及び妥当性について	10		7.6
	「テーマⅡ」 道路・河川・砂防施 設維持管理業務にお ける危険ポイントや 留意点に関する提案	・地域特性や周辺環境に配慮した創意工夫に ついての的確性、実現性及び妥当性につい て	5	20	3.8
		・業務における創意工夫についての的確性及 び妥当性について	5		3.6
		・業務における公衆災害防止について具体策 と実現性の提案について	10		6.8
	「テーマⅢ」 パトロール班及び作 業班に関する提案	・効率的なパトロール班及び作業班の業務実 施について	5	20	3.8
		・パトロール班及び作業班の DX 等の新技術 活用による効率化について	5		4.2
		・パトロール班及び作業班の担い手確保、安 全、熱中症対策、効率的な作業計画につい て	10		7.2
合 計			100		84.6